

保護者様

我孫子市立根戸小学校
校長 水戸 勝英

令和2年度 学校教育活動(教師・保護者・児童)アンケート集計結果のお知らせ

向春の候、皆様には益々ご健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、2学期末に実施しました教育活動アンケート（保護者・児童・教職員）の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。また、自由記述欄には温かい感謝の言葉をたくさんいただき、今後の励みとなりました。一方で、具体的なご意見やご要望等も数多くいただきましたので、今後の学校運営の参考にさせていただきます。

なお、アンケートの全ての項目について集計結果をお知らせしたいところですが、紙面の都合上いくつか絞って考察させていただきました。全項目の集計結果につきましては、本校のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

1. 各アンケート集計結果の分析

① 保護者対象のアンケート結果から全般的な満足度について

学校の教育活動に満足である	92%	教育目標を知っている	93%
---------------	-----	------------	-----

※保護者対象アンケート回答者数 657 家庭（回収率 96.2%）

学校に対する満足度については、「あてはまる」「概ねあてはまる」の合計回答が92%となり、昨年度とほぼ同じ割合となった。一方で、まだ8%の方が満足していない状況があるので、ご意見を真摯に受け止め、更に教育を充実させていきたい。

これ以降の分析については、「あてはまる・概ねあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない」の4つの観点のうち「あてはまる」と「概ね～」の合計値を児童・教職員もほぼ同様な質問項目の合計値と比較して分析した。

② 学習面（「/」は調査未実施項目）

評価項目	児童	保護者	教職員
基礎学力が身についている	/	93%	97%
授業はわかりやすく楽しい	84%	83%	/
行事や体験活動などに楽しく参加している	95%	95%	97%

「基礎学力が身についているか？」の問いに対して、保護者の回答は「身についている」「おおむね身についている」が併せて93%となり、教職員の評価も同様に高い数値を示した。また、児童全体としては標準学力調査において全ての教科で全国平均・県平均を上回っている。

体験活動は人間関係や学力の礎となるものと考え、本校では昨年度に引き続き力を注いできた。保護者、教職員、児童も高く評価しており、今後とも事前・事後の学習を充実させ、生きる力の育成に努めていきたい。

③生活面（「/」は調査未実施項目）

評価項目	児童	保護者	教職員
毎日楽しく学校へ通っている	90%	93%	97%
他人への思いやりが育っている	91%	96%	79%
家庭、地域で進んで挨拶をしている	81%	73%	60%
きまりを守ろうとしている	96%	97%	94%

学校はさまざまなことで相談できる機会がある	95%	89%	73%
給食をおいしく食べている	83%	92%	97%
日頃からまじめに清掃に取り組んでいる	95%	/	84%
日頃からてきぱき行動している	94%	/	91%

挨拶については、児童の評価が80%を超えているが、保護者と教職員の認識と10%のずれがあるので、家庭や地域にも認められるような挨拶のあり方について、引き続き児童に指導していく必要がある。

清掃活動については、今年度についてはコロナ禍ではあったが、児童の自己評価、教員の評価も高く、児童の委員会等の働きかけが効果的であったと考えている。また「てきぱき行動」についても児童の評価と教職員の評価には差が少なくなってきたので、迅速な行動を促すために教職員の指示の出し方の工夫を今後も心掛けていきたい。

④学校・教職員に関して（「/」は調査未実施項目）

評価項目	児童	保護者
子どもは認められ理解されている	95%	94%
児童一人ひとりにきめ細やかな指導をしている	88%	83%
児童の問題行動等に積極的に取り組んでいる	96%	82%
学校は授業参観や懇談会を通して保護者と情報を共有している	/	85%
教育活動の内容をHPや配付物で情報発信している	/	86%
学校は豊かな人間関係づくりを推進している	/	91%

「きめ細やかな指導」については、保護者からの評価がまだ得られていない部分がある。今年度は授業参観等を実施できなかったため、他の機会を通じて日常の様子をさらに伝える努力が必要である。児童の問題行動等に対する取り組みについては、他の項目と比べて肯定的な評価の割合が少なく、まだ課題があるという認識で受け止めたい。また、学校からの情報の発信を積極的に行い、さらに保護者と学校がさらに情報共有できるようにしたい。

⑤その他の「児童アンケート」の結果から主なもの

評価項目	児童
本を読むことが好き	74%
係活動に意欲的に取り組んでいる	88%
授業中に思ったことや考えたことを発表できる	61%
宿題・家庭学習にしっかりと取り組んでいる	88%
学習道具の忘れ物をしない	83%
クラスではみんなが協力し合っている	87%

今年度より新しい学習指導要領が全面実施となったが、コロナ禍ということもあり、例年のような授業形態で学習を行うことが困難なことがあった。そのような中でも児童が「主体的・協働的で深い学び」ができるように授業改善していきたい。職員のアンケート結果でも「考えを伝えることができる」という設問については肯定的な評価が56%であった。今後は、現状の中でできる限り個々で考える時間を確保し、学びを深められるような手立てを考え、教職員が児童の意見や考えにじっくりと耳を傾ける姿勢をさらに意識し、話しやすい雰囲気づくりを進めていくことを心がけていきたい。

また、「忘れ物をしない」に関しては、この数値を高いと捉えず、ご家庭と連携しながらより向上できるように指導を継続していく。

2. 保護者アンケート自由記述欄のご意見について（一部抜粋）

今年度のアンケートでも多くのご意見を頂戴しました。まずは、多くの保護者の方が本校の教育について前向きに考えてくださっていることを大変うれしく思います。**紙面の都合上、すべてのご意見を掲載することが難しいので、一部抜粋とさせていただきます。**

なお、個人的な内容や個人が特定できるものについては掲載を控えさせていただきました。また、内容が「物理的、制度的にどうにもならないこと」や「本質的に変えることができないもの」についても掲載しておりませんのでご了承ください。

①学校の教育活動全般について

【良いと感じられる点】

いつも子供の安全と成長の手助けをして下さり、ありがとうございます。一人一人と向き合うという教育は大変だと思いますが、できる限り実際に向き合ってくださいているのが伝わります。家でも関わり方を考えるきっかけをくださったりとありがとうございます。

先生がいつも一生懸命頑張ってくださいている、本当に感謝しております。ありがとうございます。

新しい生活様式のもと、活動が制限される中でも最大限、子供と保護者の事を考えて運営して下さり大変感謝しております。いつもありがとうございます。

担任の先生が、漢字などひとつひとつ丁寧に指導して下さり字もうまくなってきています。子どもの学校の様子がよくわからないですが、機会は設けてもらっていると思います。

担任の先生は、学級通信でクラスの様子を頻繁にお知らせくださるので、とても助かっています。しかし、先生の負担が多く大変ではないかと心配もしております。無理のない範囲でよろしく願います。

学校配信のメール等は、手紙に加えて連絡がもらえてよい。運動会の雨天延期も決定が早くてよかった。

コロナ禍の中、分散登校や行事など、できる範囲でいろいろ工夫して実行していただき感謝しております。特に6年生の修学旅行の代替行事は、準備も大変だったろうと思います。お陰様で楽しく参加できました。ありがとうございました。

教科担任制、とても良いと思います。他のクラスの先生方の授業を受けることもできるようになり、メリハリも生まれ授業がより楽しくなったようです。学年の先生方全員で子どもたちを見てくださるというのも心強いです。

上の子と合わせて12年間の根戸小生活が今年度でいよいよ終わります。兄弟ともに楽しく登校させていただきました。お忙しい中でも先生方の熱意やトラブルに対しての細やかな対応など、親も安心して通わせることができました。ありがとうございました。

担任の先生は、宿題をとて丁寧にチェックして下さりとても感謝しています。

給食では、きめ細かいアレルギー対応をしていただき感謝しています。レベルの高い自校式の給食を続けていただきたいです。

校長先生自ら率先してあいさつしてくれて、いつも朝、明るい気持ちにあります。子どもたちも元気に挨拶する姿がとても良いと思います。

【改善や要望等】

書き初めや自由研究の発表が、平日の昼間だと働いている人は見られません。平日夜7時までか、土曜日にも開催してください。

授業に使用する雑貨を家庭で用意しなければならない機会が多い。(1カ月に1回はある)毎回用意するのは費用もかかるので、少し負担になっています。例えば、学期ごとに前もって用意しなければいけないものを教えていただくだけでもありがたいです。

こども県展への参加が見送られ、夏休みに子どもが一生懸命やったことが無になり、非常に残念でした。運動が得意な子は、運動会や持久走大会が行われて力を発揮できたかと思いますが、絵を描くことが得意な子は参加できると思っていたことに参加できず、募集してほしくなかった。

運動会のリレーでの失格等が多いことにびっくりしました。失格が出なくて済むような仕組みがもっとあるべきだと感じました。走行中、トラックの内側に入らないよう父兄ボランティア等で体制を作るなど。順位がつかない「失格」に我が子が悲しまなくて済むなら、父兄は喜んでボランティアをやらせていただきます。応援しながら父兄同士でそういう話になりました。

学校で起こったことなどの情報がない。学校は新しい生活様式になったからこそ、学校と家庭へのコミュニケーションが必要なのでは。

登下校の指導をもっとしっかり行ってほしい。子どもたちが歩道いっぱい歩いていて、他の人が通るときに道を譲ろうともしない。子どもだけの道ではない。迷惑に感じる場合があります。

不登校に対するサポートをしていただきたいです。

感謝や評価の言葉を数多く頂きたいへんうれしく思います。教職員一同大きな励みとなりました。引き続き日々の教育活動に参考にしていきたいと思ひます。

改善や要望については、頂いたさまざまなご意見を次年度の教育課程を検討する会議で取り上げて参考にさせていただきます。

書き初めや自由研究の発表について、誠に申し訳ありませんが、教職員の勤務時間の関係から土曜日、日曜日、平日の夜7時までの公開はできません。授業の雑貨を家庭でご用意いただく場合には、学年日より等でなるべく早くご家庭にご準備できるように連絡させていただきます。運動会のリレー

競技では、ルールを児童に対してさらに指導を徹底させ、その中での競技運営に努めていきたいと
思います。児童の登下校指導については、各学級で担任を通じて行っているところではありますが、い
まだ改善されていないのが現状ですので、引き続き指導をするとともに、教職員の見守りも増やして
いきたいと考えています。不登校児童のサポートについては、家庭と学校の連携をさらに密にし、他
機関との連携も含めてサポートできる体制をさらに進めていきたいとしたいと思います。

③ 学習面について

冬の体育の授業で、アンダーウェアを着てはいけなことを理解できません。
夏の日焼け対策(プールや運動会や体育の授業)は、先生方はしっかりされているが、子どもたちも日焼 け止めや衣類の着用をさせてほしかった。
宿題は、ドリルばかり何回もやらせるのではなく、頭を使うものを少しは、出してほしいと思います。
総合学習の不足が気になります。人との関わりが制限される中、人と関わっていく大切さを何らかの形で 伝えて学んでいくことが大切かと思いました。
おそらく前半の授業がきつと早めにスピードを上げて進められたためかもしれないですが、算数などで理 解が十分でないと感じるところもあります。そこは家庭でフォローするべきことだとも思うところではありま すが、反面、例年ならきつと学校で足並みそろえて理解を進めていただろうに、きつと家で苦労しているお子さ んや保護者が多いのだらうなと思います。

冬の体育の授業でのアンダーウェアの着用について、来年から華美でないものの着用を認めたい
と思います。日焼け対策について、水泳学習では、日焼け止めを使用するとプールの水質が悪化して
しまうため、ラッシュガードの着用を認めています。運動会や体育の授業の日焼け止めの使用につ
いては、ご家庭の判断での使用を認めたいと思います。その際、教職員が日焼け止めを児童に塗るこ
とはできませんので、ご理解ください。宿題については、今後も児童の実態に合わせた宿題の出し方を
工夫したいと思います。総合的な学習の時間については、コロナ感染症予防の観点から今年度実施で
きないものもありました。来年度以降は、コロナ感染症予防をしながらできる限り実施していきたい
と考えています。人との関わり大切さを学ぶために、別の形で実施できるものについても検討して
いきたいと考えています。今年度は、授業時数減少に伴い、授業が今までとは違って教師主導型の一
斉授業の形態をとらざるを得なかった部分があります。その中でも、児童の学習理解等の見取りを確
実に行いながら、授業改善に取り組んでいきたいとしたいと思います。

④ 教職員の業務や日頃の指導等について

担任の言葉遣いの悪さ、暴言が気になると言っていました。いつもイライラしているように見えるそうです。 先生の言葉、一言一言に影響の受けやすい年頃なので、自分の感情をそのままぶつけないようご指導をお 願ひします。
高学年ともなると生徒指導も大変になってくる時期とは思いますが、先生の高圧的な話し方を見て、スト レスに感じている場面あるようで、気になっています。
担任の先生には親身になってくれています。教科で教えてくださる先生の児童への対応、授業の進め 方に疑問と不安を感じます。
今年度は、参観や行事ができないことが多く、学校の様子のはほとんどは自分の子どもから聞く内容でし た。その中で、我が家の場合は、クラス担任の先生への疑問がいろいろあり、「顔もあっていない他の先生 にどうやって相談しようか」と思いながらも、幸い学年主任の先生とコンタクトが取れました。その後、丁寧 に対応してくださっており、子どもが安心しております。人が集まることが難しい状況ですが、ちょっとした相談 がしやすい機会が増えるのを望みます。

担任による指導の仕方等については、ご指摘いただいた改善点や反省点を真摯に受け止め、早急に
指導し、教職員としての質の向上を図っていきます。また、研修等を通じて、授業改善、個に応じた
きめ細かな指導をさらに進めていきます。ご家庭との連絡については、今年度懇談会も2回のみの実
施となってしまったので、来年度は、学期に1回の懇談会を開き、学校と家庭で協力して児童を育
ていくためのコミュニケーションづくりに努めたいとしたいと思います。

⑤ 行事について

書き初めや自由研究の発表が、平日の昼間だと働いている人は見られません。
運動会は、全学年の開催でよい思い出にはなったと思いますが、保護者の密は避けられてなかったと感じます。全校大玉送りも心配でした。他校のような学年別でも良かったかと思いました。
今年はコロナ禍で先生方も本当にご苦労されたと思います。ありがとうございます。少し残念だったのは、運動会で表現のプログラムがなかったこと、部活動の実施状況の差が大きかったことです。(音楽発表会を楽しみにするような子は、運動会では表現を楽しみにすると思うので…。団体競技よりも密も避けられるかと。一部種目を平日に実施して得点加算することで、例年通りのプログラムを実施した学校もあるそうです。参考までに…。)
運動会で、保護者の方の観覧マナーがいまいち守られていなかったのが残念です。
修学旅行の代替行事は楽しく参加し、先生方には感謝しておりますが、近隣の学校では日帰り日光など行っており、歴史を学ぶためにも直接、建物を見学する体験・経験ができなかったのかととても残念です。
先日の持久走大会、手紙では表彰の際、保護者の体育館入館はご遠慮くださいとあったのに、先に終わった学年の保護者が入って写真を撮っていた。6年生の時は早めに入口を閉じられ(それまでは開いていた)鍵まで閉められ、内ドアも閉められた。非常に納得いかなかった。それならば表彰も外でやるべきではなかったでしょうか。周りにいた方も口々に不満を言っていました。全学年通して同じ対応をお願いします。
校外学習の筑波山の代わりが消防署になったことは、とても残念がっていた。遠足のような遊べる場所や公園などがよかった。

書き初めや自由研究の参観期間を長くし、対応します。働き方改革の観点及び職員の勤務の関係上、土曜日・日曜日・祝日、および平日4時30分以降は、実施できません。

運動会の保護者の密については、全家庭へのご案内の際に注意事項としてお願いしておりますが、運動会警備ボランティアの方々のお力を借りながら、改善に努めていきたいと思っております。部活動の実施については、コロナ感染症予防のガイドラインに沿っての実施となっております。社会状況に合わせて元の形に戻したいと考えております。

持久走大会の表彰式について、配付したご案内が徹底されておらず、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。以後は、徹底が図られるように教職員を配置する等の改善いたします。

校外学習について、今年度は校外学習を行える場の減少に伴う急な変更等により、例年と同じような校外学習を行うことができませんでした。今後、例年と同じような実施ができるように社会状況に合わせてながら、別の校外学習のやり方も模索していきます。

⑤ P T A 活動について

保護者による旗当番について。車の出入りのある場所に、素人が立ち、車と歩行者の誘導をすることは大変危険なことだと思います。保護者による見守りという域を超えていると思います。万が一、事故が発生した場合の責任問題にもつながります。専門の方をお願いすることはできないのでしょうか。
--

PTA 活動については、日々の見守りや旗当番をはじめ、さまざまな活動や役員の方々のご苦労を見てきて、大きなご負担をいただいているのは重々理解しています。しかしながら、やりたい人がやればよいという考え方よりも、根戸っ子のために、できる限り一部の人だけに負担が偏ることのないようにして頂ければありがたい、というのが我々の思いです。昨年度も書きましたが、この活動が多くの根戸っ子たちの成長や笑顔に繋がっていることを皆様にご理解いただけると嬉しいです。

⑥ 授業参観や懇談会等について

今年はコロナ感染症の影響で学校生活に大きな変化がありました。特に行事がかなり減ってしまい、子ども達は楽しい思い出が少ないのではないかと心配していました。学校としても思うようにイベントができず苦勞されているかと思いますが、子どもたちのためにできる限りの思い出作りをしていただければと思います。親としては、一度くらいは授業参観をしてほしいと思っていますので、ご検討のほどよろしくお願いします。
懇談会は、先生の教育論が多く、学級の内容が少なかったのが残念でした。
今年はコロナの影響もあり、仕方がないと思いますが、授業参観もなく、クラスや学校の様子がほとんどわかりません。学年だよりでももう少し様子を伝えていただけるとありがたいです。あと、3年生の筑波山遠足はなくなったのに、なぜ5年生は同じ時期に筑波山に行けたのか少し疑問でした。

今年度は、参観や行事ができないことが多く、学校の様子のはほとんどは自分の子どもから聞く内容でした。その中で、我が家の場合は、クラス担任の先生への疑問がいろいろあり、「顔もあっていない他の先生にどうやって相談しようか」と思いながらも、幸い学年主任の先生とコンタクトが取れました。その後、丁寧に対応してくださっており、子どもが安心しております。人が集まるのが難しい状況ですが、ちょっとした相談がしやすい機会が増えるのを望みます。

対策も必要だと思いますが、授業参観していただけるとありがたいです。

今年度、コロナ感染症予防による緊急事態宣言等の発令により、授業参観を実施できず申し訳ございませんでした。本来ならば子ども達の活動の様子、1年間の成長の姿をご覧頂ける機会が損なわれてしまったのは、学校としても大変残念に思います。来年度はコロナ感染症予防のガイドラインにのっとり可能な限り実施したいと思っております。懇談会の内容につきましては、会の意義等も考え、時には保護者から子どもの生活や情報や家庭の考え方を共有する場面もあることをご理解頂きたいと思っております。今年度はご家庭と学校とのコンタクトをとる機会が減ってしまっているため、積極的に学校から子どもの様子等で連絡をするようにしたいと思っております。

⑦その他

HP から得られる情報が少ないと思います。更新頻度を上げる、コンテンツを増やすなどの改善を希望します。

校舎が古いのは仕方のないことだと思いますが、校内が暗く感じます。電気や壁紙などで明るくなる工夫をしていただけると、明るいイメージがするのではないのでしょうか。

通学(朝・帰)のマナーがよくないと思います。横いっぱい広がったり、石を蹴ったり、通学路途中の他の方の家、駐車場への出入りがあります。事故などが起きてからでは遅いので、再度対策をご検討いただければと思います。

換気で窓を開けていたために夏は熱中症、冬は風邪を引いたという話を聞きました。夏・冬には終始開けているのではなく、何らかの別の対策をお願いします。

授業参観を、日にちを分ける分散方式で実施していただきたいです。

行事や用事がある来校するたびに誰でも簡単には入れてしまう環境に不安を感じます。監視カメラを設置するなど、何らかの防犯対策をお願いします。

毎年、キッズケイタイの導入について記述しているが、何の回答も得られないのはなぜか。

- ・登下校時、災害や事件・事故にあった場合に必要である。
- ・何かあった場合、学校は責任をとれるのか。
- ・他の市内小学校では、持参を許可されている。(親が働いているという理由のみで OK。その他特別なことなし)不公平ではないか。

学校におけるデジタル化の推進については賛成ですが、学校だよりは引き続き紙に印刷して配付していただけるといいと思います。

HP については、更新頻度やコンテンツの改善を今後も図っていきたいと思っております。学校だよりは紙で配付を希望する場合には児童を通じて配付いたしますので、お手数ですが、担任までご連絡ください。

携帯電話の校内持ち込みについては、平成 21 年 1 月 30 日付文部科学省通知「学校における携帯電話の取り扱いについて」に従い、携帯電話の校内への持ち込みを原則として禁止しております。ただし、特別の事情(病弱など保護者、医師と速やかな連絡が必要な場合等)がある場合については、校長が保護者と協議し、持ち込みの可否について判断するので、そのような事案が発生した場合には学校までご連絡ください。

学校における防犯対策については、現在、学校安全管理員が敷地内見守りを行っております。年 1 回、不審者対応の避難訓練等も実施していますが、今後もより安心・安全な学校を推進していくため、改善を図っていきたく考えています。

通学マナーについて、登下校時に、急に歩道から車道へ飛び出してしまう児童など、登下校時ルールがまだ習慣づいていない児童も多く見られます。今後もご家庭との連絡を図り、指導に力を入れていきます。今度も教職員も定期的に早朝指導・下校指導に出て指導をしています。学校・家庭・地域が連携して、子ども達を見守る体制を今後も継続していけるように、ご協力をお願いいたします。

4. 学校関係者評価

(2月25日の学校評議員会議において4名の評議員の方々に評価していただいた)

①評価結果 【評定】 4 (たいへん良い)、3 (良い)、2 (もう少し)、1 (要努力)

項目	評定平均値	主な意見
評価項目の妥当性	3.8	・児童、保護者、教職員それぞれの立場から「教育活動その他の運営状況について」の評価をしようとする意図が感じられる項目であり、その意味では「問題点」と「よさ」を表出させるための項目となっていてよい。しかし、三者が共通しない項目が多く、学校教育目標や学校運営の重点との関係がわからないものがあり、どんな学校像を目指して三者が取り組んだ結果を評価したのかがわからなくなっている面もあると思う。評価項目を絞り、できるだけ三者が共通して評価したほうが、効率的な場合もある。
評価の体制	3.8	・教員独自の評価項目が多いため、学校として「組織的」に行われた印象が薄くなる気がする。
評価の客観性	4.0	
評価に基づく改善	4.0	
情報の公開	3.8	・集計した側の誠意と改善への意欲の感じられる形にまとめられている。情報量が多すぎることで、保護者に把握できにくい項目を減らしていく必要がある。

②学校への意見や提言

<ul style="list-style-type: none"> ・今年の反省を、来年に活かしていただきたい。 ・職員アンケートで「あまりあてはまらない」が40%を越えている項目がいくつかある。やや多いように思うので、原因を探る等の手立てが必要である。 ・継続的な評価によって、学校経営が安定していることが良くわかる。 ・コロナの閉鎖的な学校生活においても、子ども達の明るく楽しく過ごしていることは、先生方の工夫や改善の努力の賜物である。 ・今年度、コロナ禍での学校運営は、方針・方法が確立されていない手探り状態、先が見えない中での決断と、困難を極めたものと推察いたします。その中で、運動会や持久走大会を行えたことは、子ども達にとっても大きな意味があったと思います。まだまだ油断できない状況ですが、今後も可能な限り行事を開催していただきたいです。 ・アンケート結果では、児童の「本を読むのが好き」「給食は好き嫌いなく、できるだけ残さないように食べている」の肯定的意見が年々下がっているのが気になる。また、職員アンケートの「児童が高い自己肯定感をもっている」「学習・心身・友人関係の悩みを教職員に相談している」の項目で、肯定的意見が減っており、かつ否定的意見が大きく増加している。学校として対策を考え取り組んでいただきたい。この2つの改善が他の内容にも反映されると考える。 ・インターネットでの欠席連絡、HP情報発信は、保護者からも評価されているので、今後もより活用していただきたい。・新型コロナウイルス感染症への対応と教育活動の両立を目指して、1年間教職員の皆さんが努力されたことが保護者にも伝わり、評価されていることがわかるアンケート結果だと思う。 ・厳しいご意見も見られたが、それも含めてこのアンケート結果を保護者、地域住民から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりのために活かしてほしい。
--

根戸小学校キャラクター「ねどっピー」

原画

